広報
こおり
12
Dec.2024
vol.660

受け継がれる囃子の音色 ――

［各地区小学校学習発表会］

献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

【後列左から】菅野明人、佐藤豊、緑上智貴、浅野靖春、鈴木紀子、株式会社フクダ･アンド･パートナーズ 代表取締役社長 福田哲也、旭計器株式会社 代表取締役社長 多賀新吾（代理 取締役 総務部長 奥山篤）、明治安田生命保険相互会社 郡山支社 支社長 高橋現、鶴町和道（代理 鶴町伸子）、安藤智章　【前列左から】佐藤伴美、平井吉衛、津田次男、原賢志町議会議長、髙橋宣博町長、佐藤久仁夫、工藤信悦、菅野義家、宍戸興一

輝かしい功績を称えて　令和6年度桑折町表彰式

町表彰

【特別功労表彰】

▼本町の振興発展に尽くした功績により叙勲または褒賞の栄に浴した者

瑞宝単光章　津田次男
齋野英利

【功労表彰】

▼地方自治法第180条の5第1項各号、同条第3項各号に掲げる委員の職にあって、12年以上在職した者

（選挙管理委員会委員）
平井吉衛

▼非常勤の特別職またはその他これに準ずる者で、多年本町の公務を助け、特に功績顕著な者

（行政連絡員）
工藤信悦
佐藤久仁夫
菅野義家
齋藤茂憲

（文化財保護審議会委員）
鈴木文夫
佐藤伴美

（消防団員）
佐藤　勉
浅野靖春
半沢克信
緑上智貴
岩﨑雄一
佐藤　豊
鈴木隆志
大橋一雄
木村　努
菅野明人

▼団体または個人であって、町の公益または発展に寄与した功績特に顕著な者

（民生児童委員）宍戸興一

（社会福祉協議会役員）
石幡正則
鈴木紀子

（保護司）
片平秀雄

▼町の公益のため100万円以上の金品を町に寄附した者

株式会社フクダ・アンド・パートナーズ
代表取締役社長
福田哲也

旭計器株式会社
代表取締役社長
多賀新吾

【左から】土屋光生、紺野颯汰、会田智康、髙橋宣博町長、佐藤浩哉教育長、網代春朋、渡邉詩空

教育や福祉、防災など、さまざまな分野で町発展のために尽力された皆さんおよび町に寄附された皆さんを表彰する町表彰式が11月8日、役場で開かれました。受賞者の皆さんを紹介します。

教育委員会表彰

【社会教育功労賞】

▼多年にわたり社会教育の振興に尽くし功績顕著な者

山木一芳

【芸術文化功労賞】

▼多年にわたり芸術文化の振興に尽くし功績顕著な者

網代春朋

【青少年特別表彰】

▼青少年で特に顕彰すべき顕著な事績、行為があった者

伊藤千晴
渡邉詩空
紺野颯汰
土屋光生

【地方教育行政功労者表彰】

▼多年にわたり教育行政の進展に貢献された者

会田智康

（敬称略・順不同）

【善行表彰】

▼団体または個人であって、多年町の公益に関する事業に尽くし、または公務を助け、その成績顕著であって町民の模範となる者

（献血協力）

安藤智章
道喜真理

▼町の公益のため、多額の金品を寄附し、または奇特の行為があった者

（寄附）

林　信一
鶴町和道
小泉和雄
大槻三雄
多賀新吾
原田孝史
丸平　光
明治安田生命保険相互会社
郡山支社 支社長　髙橋　現

「半田銀山」テーマにシンポジウム

半田銀山の価値を再発見するシンポジウムが11月10日、町内各所で開かれました。五代友厚が1874年（明治7年）に半田銀山を再興してから150年になる節目の年を記念し、催しました。

五代友厚の名誉回復を半田銀山で公害対策

羽原 顕三さん／上村 修三さん

五代は「悪徳商人」とのイメージがありましたが、これまでの研究で誤りであることがわかりました。

五代は半田銀山の操業に当たり、稲作への悪影響を防ぐため、排水を浄化する沈殿池を造ったり、稲作期間に工事を休んだりしていました。地元の農民側とは1876年に締約書を交わし、公害防止協定の先駆けといえる内容のものでした。1980年代に足尾銅山鉱毒事件が表面化するより前に対策が講じられていました。

五代と渋沢を比較 五代を知ってほしい

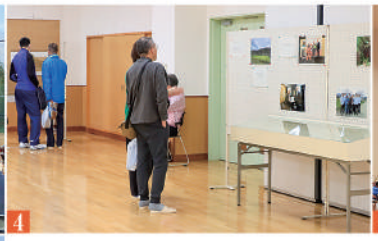
大森 美香さん

西の五代友厚、東の渋沢栄一と言われていた２人を比較すると、渋沢が国内で事業を展開する中、五代は海外にも目を向け、さまざまな活動をしていました。そんな中、渋沢は長生きしましたが、五代は短い生涯だったため、五代の功績が分かりづらかったのかもしれません。

五代に関する新しい史実は、いろんなことが見つかると思うので、今後、五代のことをもっと皆さんに知ってほしいと思います。

シンポジウムには、五代友厚顕彰会（大阪）の羽原顕三さんと上村修三さん、脚本家の大森美香さん、漫画家の安彦良和さんが、それぞれ登壇。県内外から歴史ファンら約５００人が来場しました。

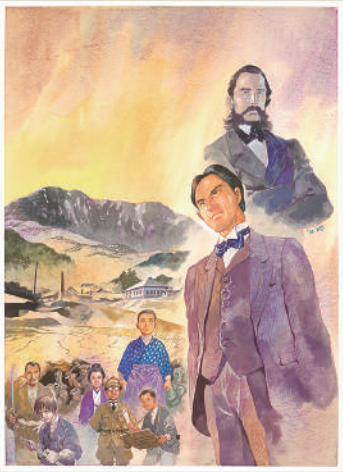
特別トークとして「機動戦士ガンダム」のキャラクターデザインを手掛けた漫画家の安彦さんが登壇。安彦さんの曽祖父が半田銀山で絵図面師をしていたゆかりがあり「自分のルーツが半田にあった」と語った上で、半田銀山を舞台にした作品を描く構想を明らかにしました。伊達市梁川育ちの声優佐々木るんさんが進行役を務めました。脚本家の大森さんは、五代と同世代で活躍した渋沢栄一を比較し、魅力を語りました。五代友厚顕彰会の羽原さんと上村さんは、五代が半田銀山で取



1_約500人の来場者が半田銀山の歴史に迫る　2_半田醸芳小児童らによる半田銀山祇園ばやしがオープニングを飾る　3_安彦さんと親交の深い声優の佐々木さん　4_イコーゼで行われた半田銀山企画展　5_町内飲食店なども出店しイベントを盛り上げる

安彦さん書き下ろしのポスター原画

右下が五代友厚、中央下で画板を持つ青年が安彦さんの曾祖父、その上のかすりの着物を着た少年が八代目早田伝之助、右上は大久保利通をそれぞれイメージしたという。



▲学習の成果を堂々と発表した（写真左から）佐藤さん、松山さん、武藤さん、田中さん、本田さん

半田銀山について学び、成果を発表

こども歴史案内人を務めた小学６年生５人が、半田銀山の概要を紹介し、町を PR しました。

登壇したのは、醸芳小学校の武藤有希さん、半田醸芳小学校の田中彩瑛さん、本田麗奈さん、睦合小学校の松山愛璃亜さん、佐藤結莉菜さん。５人は、五代友厚の功績や半田山自然公園の魅力について発表。「昔の人たちが残してくれた貴重な歴史と豊かな自然をこれからも守っていきたい」と締めくくりました。

児童らは、10 月から現地での銀山の坑口見学や勉強会を通して半田銀山について学び、本番に臨みました。

曽祖父ゆかりの地・桑折 半田銀山舞台に漫画を

安彦 良和さん

私の曽祖父は、半田銀山で絵図面師をしていたゆかりがあり、自分のルーツは半田にあると思っています。桑折町は、自然が豊かで、とてもすばらしいところですね。五代と半田銀山について調べていると、五代は足尾銅山の鉱毒が表面化する10年も前に、半田銀山で鉱毒対策をしていました。これにはびっくり。

今回のシンポジウムをきっかけに今後、半田銀山を舞台にした漫画を描こうと思っています。

り組んだ農作物被害への不安を払拭する環境対策と住民協定について報告しました。

同日は、半田銀山祇園ばやしによる演奏と、やまがた愛の武将隊による演舞、半田銀山企画展も開催。バスツアーも催され、県内外から80人が参加し、半田銀山中鋪坑口（なかしきこうくち）や史跡公園などを巡りました。

6・7_スタディツアーでは、町歴史案内人が説明。女郎橋が残る史跡公園や中鋪の坑口などを見学　8・9・10_やまがた愛の武将隊による演武とトーク「上杉景勝と半田銀山」、甲冑なりきり体験、純銀蒔絵体験　11_安彦さんのサイン会

税の作品コンクール
税の大切さを考える

小・中学生を対象にした、税に関する作品コンクールの表彰式が10月22日、役場で行われました。受賞者の皆さんを紹介します（敬称略）。

▲標語と書の部を合わせて、応募総数470点の中から見事優秀作品に選ばれた皆さん

【標語の部】

◆町長賞
納税で　住みよいくらし　町づくり
伊達崎小5年　大槻　芽桜

◆町教育委員会教育長賞
飛鳥から　国を支える　税制度
半田醸芳小6年　本田　麗奈

◆町議会議長賞
税金は　子供の未来　つなぐ糸
睦合小5年　佐藤　拓真

◆福島地区税務協議会長賞
納税は　やさしい町を　つくるたね
醸芳小5年　松浦　闘士

◆県北地方振興局長賞
税金は　みんなの「いつも」守ってる
醸芳小6年　渡部　晶斗

◆入選
税金で　皆の暮らしを　幸福に
半田醸芳小6年　末廣　昊大

◆入選
守ろうよ　みんなの笑顔　納税で
醸芳中2年　浅野　蓮心

◆入選
桑折町　税金あって　笑顔あり
醸芳中2年　片平　希美

◆入選
深めよう　正しい知識　よい納税
醸芳中2年　角舘　真宙

◆入選
皆の力で　豊かな未来を　創ろう税!!
醸芳中2年　安藤　聖弥

【書の部】

◆町長賞

睦合小6年
長谷川 琴子

◆町教育委員会教育長賞

醸芳中1年
太田 玲奈

◆町議会議長賞

半田醸芳小6年
本田 麗奈

◆福島地区税務協議会長賞

醸芳小5年
佐藤　仁

◆県北地方振興局長賞

醸芳小6年
本田　心

◆入選

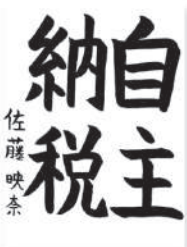
睦合小5年
野地　碧

◆入選

伊達崎小5年
石幡 心美

◆入選

醸芳中1年
古山 結菜

◆入選


醸芳中1年
佐藤 映奈

◆入選

醸芳中1年
高橋 みいな

6年連続で100万円寄附 旭計器㈱による企業版ふるさと納税

町は、旭計器株式会社から6年連続となる企業版ふるさと納税制度を活用した寄附を受け、その贈呈式が11月22日、役場で行われました。「企業版ふるさと納税」とは、自治体が寄付金を地方創生のための事業に活用することができ、寄附を行った企業は税制上の優遇措置が受けられる制度です。町内に工場を有する同社は、さまざまな用途で使用されるサーモスタット（機械の温度を一定に保つための装置）を製造している企業。多賀新吾代表取締役社長は「こどもを大切にするまちづくり事業に役立ててほしい」と、髙橋宣博町長に目録を贈呈。町では、寄附金を学力向上対策の推進や学校教育環境整備事業に活用する予定です。

1_髙橋町長に目録を手渡す多賀社長（右）　2_自社の取り組みや今後のビジョンを話す多賀社長（左から2番目）

町民の健康増進を目指して 明治安田生命保険相互会社が寄附

町は「健康増進に関する連携協定」を締結している明治安田生命保険相互会社から63万4、500円の寄附を受け、その贈呈式が10月21日、役場で行われました。同社は、令和3年度の協定締結以来、町民の健康増進のために、健康測定会などで実施するベジチェック測定の実施協力をはじめ、町に対して毎年寄附を行っています。郡山支社保原営業所の馬場千誉（かずたか）所長は「弊社職員の募金による寄附金を、町の健康事業に役立ててほしい。今後も、町と連携しながら地元に貢献していく」と話しました。田中香代子副町長は「日本一健康なまち桑折を目指して、今後も連携強化を図っていく」と話しました。寄附金は、新たな健康測定器の活用事業に充てる予定です。

▲田中副町長（左）へ目録を手渡す馬場所長（中央）。町は今後も健康増進事業を推進していきます

災害時の救急救命のために 住民自治協議会が防災研修

町住民自治協議会による防災研修が11月2日、イコーゼで行われ、50人が参加しました。当日は、日本赤十字社の職員を講師に、災害時の救急法を学びました。AEDを使用した心肺蘇生では、倒れている人の意識や呼吸の確認作業をはじめ、胸骨の圧迫やAEDの使用手順などを確認。また、三角巾を使い、けが人の腕や足の固定方法などを体験しました。参加者らは、講師の動きを参考に実演を重ね、救急救命の手法を身につけました。

▶一つ一つ丁寧に手順を確認しながら研修に臨む参加者

▶太田統括局長から記念品を受け取る髙橋町長（左）

「献上桃の郷」を全国へPR 町広告付き年賀はがき大好評

町特産の桃がデザインされた広告付き年賀はがきの販売が11月1日から始まりました。発売に先立ち、記念品贈呈式が10月30日、役場で行われました。式では、日本郵便株式会社の太田浩幸福島県北部地区統括局長岩代郵便局長と髙橋町長らが出席し、年賀はがきのデザインを披露しました。広告付き年賀はがきの価格は、通常の年賀はがきより5円安く、1枚80円で販売。町内のほか、近隣8市町村の郵便局で購入できます。

家事・育児の悩みや考え方を共有 パパとママの子育てカフェ

福島信用金庫と町の連携協定事業「パパとママの子育てカフェ」が10月12日、役場で開かれ、子育て真っ最中の世代23人が参加しました。

当日は、株式会社ケイリーパートナーズの鷲谷恭子さんによる「柔軟な働き方と子育てとの両立」をテーマとした講演や福島県男女共生課職員による家事・育児シェアシートを使用したワーキンググループなどが行われました。参加者からは「夫婦で現状をシェアできてよかった」、「子育てについて意見交換ができてよかった」などの感想が寄せられました。

町では今後も、「第3次こおり男女共同参画プラン」に基づき各種事業を展開していきますので、ぜひご参加ください。

▲コーヒーやお菓子を食べながらリラックスした雰囲気で、家事・育児の悩みや考え方を共有しました

地域で見守る力育む 認知症サポーター養成講座

桑折郵便局と福島信用金庫桑折支店の職員を対象とした、認知症サポーター養成講座が11月7日、桑折郵便局で行われ、約15人の職員の皆さんが参加しました。当日は、認知症の基礎やATM操作が難しい人などへの対応など、支援が必要な人へのサポートの仕方を学びました。

2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると予想されています。あなたも認知症の人とその家族を応援する「認知症サポーター」になりませんか。

次回は12月20日にイコーゼで開催予定。詳細は、健康福祉課または町包括支援センターまで問い合わせください。

▲認知症の人が窓口に訪れた場合を想定し、声かけなどを実践。参加者同士でより良い対応方法を考えました

＼ 出張します ／

「認知症サポーター養成講座」を希望する事業所や団体は、健康福祉課（☎582-1133）または町包括支援センター（☎582-1188）までご相談ください。

地域で見守る意識高める 高齢者見守り声かけ訓練

高齢者が行方不明や迷子になったという想定で、実際に捜索や声かけを行う「高齢者見守り声かけ訓練」が10月10日、伊達崎地区で行われました。

訓練には、介護関係事業所の職員や民生委員、伊達崎小学校の教師や児童らが参加。高齢者役2人が地区内を歩き、参加者らによる声かけやスマートフォンで読み取るとコールセンターの電話番号が表示される「見守りQRコード」の利用方法を確認しました。

▶高齢者役に貼られた見守りQRコードを読み取る参加者

在宅介護者をサポート 「なるほど、なっとく」介助法講座

在宅で介護している家族や、これから介護をする可能性がある人を対象に、「なるほど、なっとく！」の介助法講座が11月6日、イコーゼで行われ、20人が参加しました。当日は、介護アドバイザーの下山名月さんを講師に、「本人の残っている機能と意欲を引き出す介助」を学びました。ベッドから車いすへの移乗動作や椅子の座り直しなどの場面を想定し、参加者同士で実践。「わかりやすくとても勉強になった」と好評でした。

▶下山さんのアドバイスを受けながら実践形式で学ぶ

全校生で創り出す新たな一ページ
「革命」醸中祭

「革命」をテーマに、醸芳中学校の文化祭「醸中祭」が10月26日に開かれました。

合唱コンクールでは、緊張感が漂う中、各クラスがこれまで練習してきた成果を存分に発揮し、美しいハーモニーが体育館に響き渡りました。職員合唱では、生徒たちからの熱烈な声援を受けながら、懸命に歌う先生たちの姿に盛り上がる場面も。ステージ発表では、総合的な学習の時間のまとめ発表や吹奏楽の演奏、有志発表などが行われ、全校生が一体となって醸中祭を創り上げました。

1・2_ 張り詰めた空気が漂う中、指揮・ピアノ・歌声が重なり合い美しいハーモニーが会場に響く合唱コンクール　3_ 今年のテーマ「革命」を描いた伝統のビックアート　4_ 総合的な学習で学んできたことや感じたことを発表　5_ 職員合唱を披露する先生たちに声援を送り会場を盛り上げる　6_ 教室では授業で制作したさまざまなな作品の展示が行われました

堂々とした姿で自己表現
小学校学習発表会

町内4小学校の学習発表会が10月19日、各校で行われました。

半田醸芳小では、毎年恒例の半田銀山祇園囃子の演奏で幕が開き、睦合小では、環境問題をテーマとした発表や「セロ弾きのゴーシュ」の劇を披露。伊達崎小では、十二支の成り立ちの劇やダンス、醸芳小では、「おむすびころりん」の劇や群読、ダンスなどを披露しました。多くの観覧者を前にしても、自分らしさを堂々と表現する児童らの姿に、会場から大きな拍手が送られました。

半田醸芳小　醸芳小　伊達崎小

睦合小

長い歴史に思い馳せる 睦合小150周年記念式典

明治7年に成田小学校（慈雲寺）・万正寺小学校（観音寺）を母体として開学した睦合小学校の創立150周年を祝う記念式典が10月19日、同校で行われました。式では、児童発表が行われ、6年生の皆さんが、「睦みの百年」という創立100周年記念誌を基に調べた学校の歩みについて発表。「さまざまな困難や試練を乗り越え、今の姿があります。本校に託された多くの方々の思いを忘れずに、つないでいきましょう」と力強く話しました。式の最後には、全校生で校歌を歌い、大好きな学び舎への思いを一つにしました。

1_記念すべき日に立ち会えた喜びや熱い思いを発表する6年生の皆さん　2_歌いなれた校歌を元気いっぱい歌う児童の皆さん

プロに教わるチャレンジ精神 福島ユナイテッドFCサッカー教室

福島ユナイテッドFCによるサッカー教室が10月29日、伊達崎小で行われました。この教室は、ふくしま夢応援事業の一環として行われ、サッカーの体験を通して、スポーツに親しもうとする意欲を高め、夢や目標に向かってチャレンジする精神を育むことを目的としています。

当日は、NPO法人福島ユナイテッドスポーツクラブのスタッフを講師に、チームワークの良さにつながる声かけや、最後まであきらめない気持ちの大切さを学びました。秋晴れの下、積極的にボールを追いかけ走る児童らの姿がありました。

▲伊達崎小と睦合小の4、5、6年生が合同で参加し、普段とは違う仲間との交流を楽しみながらボールを追いかけました

広　告

あふれる笑顔、文化交流の輪
第49回桑折町文化祭

第49回桑折町文化祭が10月19日、20日の2日間、町民体育館とイコーゼで開かれ、町内外から約1、400人が訪れました。

今年のテーマは、「みんなで創ろう 文化交流の輪」。体育館入口に、来場者参加型のビックアート「住人十色みんなの森」を設置し、色とりどりの葉っぱに町への思いやメッセージを寄せてもらいました。このほか、子どもから大人まで、多くの地域住民が手掛けた絵画や書道、写真などを一堂に展示。来場者はスタンプラリーを楽しみながら、一つ一つのブースをじっくり鑑賞したり、ワークショップに参加したりしました。イコーゼでは、23団体が歌やダンス、合奏など、日ごろの活動成果を披露。観客と一緒に歌ったり、体を動かしたりする場面もあり、会場はあたたかい雰囲気に包まれました。そのほかの写真はこちらから▼

1_華やかな衣装で優雅なダンスを披露　2_心に寄り添う合唱　3_今年初開催のビックアート　4_親子共演で会場を笑顔に　5_大正琴の音色しっとり　6_温もり伝える絵手紙体験　7_華麗に舞う若き日本舞踊家　8_鳴子を手に躍動

桑折町チームベスト16
市町村対抗福島県ソフトボール大会

「第11回市町村対抗福島県ソフトボール大会」で、桑折町チームの試合が10月6日、12日、13日、相馬光陽ソフトボール場で開かれ、熱戦を繰り広げました。

町チームは、大熊町との1回戦および浅川町との2回戦に勝利し、昨年度準優勝の国見町と対戦しました。試合は1回表に3点を挙げるも、その裏に6失点を許す厳しい展開となりましたが、3回表には6点を取り返し逆転。しかし、その裏にさらなる失点を許し、9対11で試合終了。惜しくも勝利を逃しましたが、選手たちは全力を尽くし、昨年の結果を上回るベスト16の結果を収めました。

▲チーム一丸となって白熱した試合を繰り広げた桑折町チームの皆さん

ふれあい公園で訓練披露
町消防団秋季検閲

町消防団の秋季検閲が10月27日、ふれあい公園で行われ、消防団員ら約２００人が参加しました。

当日は、秋晴れのもと、観覧から始まり、分列行進や通常点検、ラッパ隊の演奏披露、小隊訓練、ポンプ車操法訓練、小型ポンプ操法訓練などが行われ、日ごろの練習成果を披露しました。

続く式典では、町消防団長表彰をはじめとする各種表彰が行われ、消防活動に貢献した団員らを表彰。受章者代表謝辞では、第４分団第１部の上田克彦班長が「大変光栄に思う。この栄誉は、団長をはじめ、先輩や同僚の指導の賜物。今日の感激を肝に銘じ、消防人として地域住民の安全・安心を守るために、よりいっそう精進する」と述べました。参加団員らは、消防技術の確認と技術向上の決意を新たにしました。

1・2_ 団員らが連携し放水までの動作を披露するポンプ車操法訓練と小型ポンプ操法訓練　3_ 消防車両による観閲　4_ 統監の髙橋町長による通常点検 5_ 謝辞を述べる受章者代表の上田班長　6_ 一体感を披露する小隊訓練　7_ 士気を高めるラッパ隊の演奏

火の用心を啓発
秋の全国火災予防運動パレード

秋の全国火災予防運動町内パレードが11月10日、町全域で行われました。消防車両５台が出動し、消防団や女性消防隊、女性防火クラブから約30人が参加しました。

消防車両は役場を出発し、町内をくまなく巡回。女性消防隊らが車両に乗り込み「火災の発生しやすい時季を迎えます。火を使用する際は十分注意し、火災予防に努めましょう」などと呼びかけ、火の用心を啓発しました。

▼町消防団では、随時団員を募集しています。興味のある人は、生活環境課　危機管理係（☎５８２２１２３）まで問い合わせください。

▲町内をくまなく巡回し、火の用心を呼びかけるため、役場を出発する消防車両

秋 秋のピーチリバークフェス2024
空の下でアウトドア体験

桑折かわまち協議会主催のアウトドア体験が楽しめるイベント「秋のピーチリバーク157フェス2024」が10月26日、町阿武隈川多目的親水公園ピーチリバーク157で開かれ、約100人が参加しました。同イベントは、ピーチリバーク157の利用促進の一環として開かれ、火起こし体験やまき割り体験、マシュマロ焼きなどのアウトドア体験をはじめ、ポニー乗馬や阿武隈川でのボート体験、モルック体験や凧揚げなどが行われました。当日は、親子連れの参加者で賑わい、半田山の紅葉と阿武隈川が運ぶ爽やかな風を感じながら、さまざまな体験を通して、桑折の秋を満喫しました。

BBQや芋煮会、外遊びがいつでも自由にできるピーチリバーク157。皆さんも、ぜひ活用ください。また、公園を管理している桑折かわまち協議会では、一緒に活動していただける会員を募集しています。興味がある人は、下記事務局までお気軽に問い合わせください。

■桑折かわまち協議会事務局（建設水道課内）☎582-2127

1_ひざがポイント！薪割り体験　2_優雅なボート体験　3_頭と体を使うモルック体験　4_リズムが大事な火起こし体験　5_とろけるおいしさマシュマロ焼き　6_かわいいサイズのポニー乗馬体験

▲防災意識向上を図る標語を作り、見事優秀作品に選ばれた皆さん

17 防災標語コンクール表彰式
文字に託す防災意識

桑折地区住民自治協議会主催による「防災・自然災害」をテーマとした標語コンクールの表彰式が11月5日、醸芳小学校で行われました。

標語コンクールは、同校の子どもたちの防災や交通安全に対する意識向上を図るため、平成22年から毎年夏休みの宿題として実施しています。今回の表彰式では、応募総数90作品の中から優秀作品に選ばれた5、6年生の児童20人に、佐藤勲事務局長より賞状が手渡されました。優秀作品は、立て看板として地域内の道路脇に掲げ、地域の皆さんの防災意識向上に役立てられます。

防災標語　優秀賞

（敬称略）

5年生	非常口　命をつなぐ　第一歩	田中壱弦
	さいがいに　そなえる準備　命をすくう	太田ここみ
	自然災害に　家族みんなで　そなえよう	國分優希
	災害に　備えてにげ道　要チェック	佐藤伊織
	ひなん所は　みんなの場所だよ　たすけあい	井浦凛之介
	備えよう　防災知識　武器にして	伊藤汐梨
	大地震　おきてもあわてず　すぐひなん	山木　渉
	みんなで　たすけあおう　いのちのわ	菅野琉希亜
	日ごろから　にもつかくにん　すぐひなん	佐藤　仁
	ふだんから　ハザードマップ　かくにんだ	丹野　樹
5年生 6年生	ふだんから　きめておこうね　ひなんばしょ	須藤結心
	地域の輪　何より強い　命綱	渡邊兼紳
	まだ平気　それは間違い　すぐ逃げて	清野涼朱
	いつ来ても　備えて守る　自分の命	伊藤悠磨
	避難所を　家族で確認　安全を	本田　心
	災害時「ちょっと見てくる」行かないで	伊藤千晴
	災害に　備えていよう　防災グッツ	井浦　弾
	あせらない　地震の時は　れいせいに	桑原華蓮
	防災で　みんなの命が　救われる	渡邊悠姫
	覚えよう　守れる命　救う地図（マップ）	赤井美月

きれいな町、きれいな阿武隈川を目指して

クリーンアップ作戦

11月1日の「阿武隈川の日」にちなんで、各町内会や町内事業所の皆さんでクリーンアップ作戦を行いました。

この活動は、阿武隈川流域にある22市町村が年一回、町内会や事業所の協力のもと実施しており、今年は11月3日を中心に行われました。町では、2,500人以上が参加し、道路や河川敷、水路などに投棄されたごみの回収や、雑木・雑草の仮払い、側溝の土砂上げなどが行われました。また、桑折かわまちづくり協議会では、ピーチリバーク157のごみ拾いを行い、町全体で環境美化に取り組みました。

▲ピーチリバーク157でごみ拾いを行った桑折かわまちづくり協議会

みんなが気持ちよく過ごせるように

町シルバー人材センターのボランティア活動

町シルバー人材センターによるボランティア活動が10月15日、桑折駅前団地集会所周辺で行われ、会員約20人が参加しました。

当日は、駅前団地の歩道や集会所周辺など、約3時間かけて隅々まで除草を実施。多くの人が行き交う場所の環境美化に努めました。ボランティアに参加した会員は「きれいになった場所で、みんなが気持ちよく過ごせれば」と話しました。

町シルバー人材センターでは、随時会員を募集しています。お気軽に問い合わせください（☎582-3194　桑折町字西段10）。

▲道行く人が気持ちよく過ごせるようにと除草作業を行う参加者の皆さん

広　告

桑折町公式 LINE ▸▸▸▸▸

広報こおり・お知らせ版など
町の情報がスマホに届く！

町人事行政の運営の状況

町の人事行政運営などを町民の皆さんに理解していただくため、「桑折町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数や給与、服務などの状況について公表します。　問総務課　行政係　☎582-2111

01　職員数および任免の状況

■部門別職員数の状況（各年４月１日現在）

（単位：人）

部門	一般行政部門									特別行政部門		公営企業等会計部門			合計
	議会	企画総務	税務	民生	衛生	水産農林	商工	土木	小計	教育	小計	水道	その他	小計	
令和６年度	2	27	8	15	12	9	2	9	84	24	24	6	9	15	123
令和５年度	2	26	8	16	13	9	2	9	85	25	25	6	10	16	126
対前年増減数	0	▲1	0	▲1	▲1	0	0	0	▲1	▲1	▲1	0	▲1	▲1	▲3

※特別職（3人）は人数に含まれていません。

■採用および退職の状況

令和６年４月1日付け採用者数（再任用含む）	2人
令和５年度退職者数	5人
増減	▲3人

■一般行政職の級別職員数の状況　◎

級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
標準的な職務内容	主事	主事	主任主査 主査	課長補佐 主任主査	課長 副参事	参事	－
職員数	3	8	21	42	7	3	83
構成比	3.6%	9.6%	24.1%	50.6%	8.4%	3.6%	100%

※小数点以下の処理の都合上、合計が100%にならない場合があります。

■フルタイム会計年度任用職員数の状況（各年４月１日現在）

年度	人数
令和６年度	40
令和５年度	41
対前年増減数	▲1

02　職員の給与の状況

■人件費の状況（令和５年度一般会計決算）

住民基本台帳人口（令和６年３月31日現在）	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率（B／A）
11,023人	6,176,383千円	151,712千円	1,350,112千円	21.9%

※人件費には、特別職に支給する報酬や会計年度任用職員の給料・手当・社会保険の事業主負担分なども含みます。

■職員給与の状況（令和６年度一般会計当初予算）常勤職員のみ

職員数 A	給与費			１人当たりの給与額B／A
	給料	職員手当など	計　B	
111人	466,111千円	260,777千円	726,888千円	6,549千円

※職員手当には、退職手当（退職手当負担金）および児童手当は含みません。
※給与費については、任期付短時間勤務職員の給与費が含まれていますが、職員数には含まれていません。

■職員の平均給料月額および平均年齢　◎

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	339,101	44歳５月

※給料水準の改善のため、給料月額を２%削減（行政職３級以上職員）

■職員の初任給の状況　◎

区分	学歴	初任給
一般行政職	大学卒	200,500円
	高校卒	169,900円

■特別職の報酬などの状況　◎

区分	給料・報酬月額	期末手当		
町長	846,000円	三役	６月期	1.675月分
副町長	676,000円		12月期	1.675月分
教育長	635,000円		合計	3.35月分
議長	338,000円	議員	６月期	1.675月分
副議長	254,000円		12月期	1.675月分
議員	228,000円		合計	3.35月分

※標題◎は、令和６年４月１日現在
※04～08は、令和５年度

※ここで用いた数値は、「地方財政状況調査」、「地方公務員給与実態調査」および「地方公共団体定員管理調査」などをもとにしたものです。

■主な手当の種類とその内容　◎

期末・勤勉手当（一般職）	• 期末手当　6月期　1.225月分　12月期　1.225月分 • 勤勉手当　6月期　1.00月分　12月期　1.00月分 ※職制上の段階、職務の級などによる加算措置あり
時間外勤務手当	• 職員１人当たり平均支給年額…127,716円 （令和５年度一般会計決算額）
扶養手当	• 子…1人10,000円　• 子以外…１人6,500円 扶養親族のうち16歳から22歳までの子…１人5,000円加算
住居手当	借家借間…28,000円上限
通勤手当	• 交通機関など利用者…64,000円までは全額、64,000円を超えた場合、その超えた額の1/2の額を64,000円に加えた額 • 自動車等使用者…通勤距離に応じて、2,000円～45,900円
特殊勤務手当	• 職員全体に占める手当受給者の割合…31.0% • 支給対象職員１人当たり平均支給年額…90,290円 • 代表的な手当の受給者…税務職員、保育士、幼稚園教諭、保健師など ※すべて令和５年度
管理職手当	職制上の段階により、39,500円～61,400円（課長補佐以上）

03　職員の勤務条件の状況

■勤務時間

１週間の正規の勤務時間	38時間45分
１日の正規の勤務時間	７時間45分
就業時刻	8:30 ～17:15

■休暇制度

休暇の種類		付与日数
年次有給休暇		年ごとに20日間付与され、20日を超えない範囲内の残日数は翌年度に繰り越し可能 ※令和５年平均取得日数…8.6日
特別休暇（主なもの）	産前産後休暇	産前８週、産後８週
	育児時間休暇	１日２回各45分以内
	骨髄ドナー休暇	必要とする期間
	ボランティア休暇	５日以内
	子育て支援休暇	７日以内（子が２人以上の場合は10日以内）
	結婚休暇	連続５日以内
	忌引休暇	続柄により１～10日以内
	夏季休暇	６～10月の間に５日以内
	短期介護休暇	５日以内（要介護者が２人以上の場合は10日以内）

■育児休業の取得状況

区分	育児休業の取得期間		
	１年以内	１～２年以内	２～３年以内
男性	０人	０人	０人
女性	１人	４人	０人

04　職員の分限処分と懲戒処分の状況

• 分限処分…６件（休職３件）
• 懲戒処分…なし

05　職員の服務の状況

区分	承認件数	事由
服務義務違反	０件	―
営利企業等従事許可	０件	―

06　職員の研修と勤務評定の状況

■職員の研修の状況

区分	内容	受講者数
派遣研修（ふくしま自治研修センター）	基本研修（階層別）	15人
	選択研修	３人
庁内研修	情報セキュリティ研修	65人
	新規採用職員研修	１人
	町職員としての意識啓発研修	259人

■職員の勤務評定の状況

６月期および12月期の勤勉手当について、勤務評定を実施し、その評定を反映させて支給しています。

07　職員の福祉と利益の保護の状況

■健診などの受診状況

区分	受診者数
定期健康診断	111人
人間ドック	19人

■公務・通勤災害の発生件数

区分	件数
公務災害	０件
通勤災害	０件

08　公平委員会の業務の状況

区分	件数
勤務条件に関する措置の要求	０件
不利益処分に関する審査請求	０件
人事行政相談	０件

健康長寿で元気なまちづくり

こおりヘルスアップDAY 2024

町と「こおり健康楽会」の共催による健康に関するイベント「こおりヘルスアップDAY 2024」が11月3日、屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」で開かれ、約500人が参加しました。

「あなたの人生金メダル～心と体の健康づくり～」と題した健康講演会では、オリンピック体操金メダリスト内村航平選手の母・内村周子さんが、楽しい軽妙なトークを繰り広げ、会場は笑いと感動が絶えない場となりました。

また、小学生以下を対象とした「楽天イーグルス公式チアリーダー東北ゴールデンエンジェルスと一緒にからだを動かして楽しもう！」では、楽天イーグルスの球団歌に合わせて、子どもたちが元気いっぱいからだを動かしました。

健康測定会では、好評のベジチェックやインボディ、血管年齢測定、骨健康度測定のほか、ビタミンスムージーの試飲、脳活トレーニングや伊達薬剤師会の子ども調剤薬局体験、町スポーツ協会によるミニスポーツテスト、企業ブース展示など、参加者は自身の測定などを通して、健康づくりへの意欲と関心を一層高めることができました。

内村さんの楽しい軽妙なトーク

講演を熱心に聞き入る参加者の皆さん

1・2_ベジチェックや血管年齢測定、身体測定など、自分のからだの状態を知り、健康意欲を高める参加者の皆さん　3・4_楽天イーグルス公式チアリーダー「東北ゴールデンエンジェルス」と一緒にからだを動かして楽しむ！

「おでかけパス」を使ってみませんか？
～タクシー運賃利用助成制度～

町では、高齢者の移動手段をサポートする「おでかけパス」事業を実施しています。本サービスは、該当する町民がタクシーを使用した場合、町内移動分の運賃が1回の利用につき一台500円となる助成制度です。現在は登録者1,000人を超え、町の主要福祉事業の一つにもなっています。

買い物や通院などにも気軽に利用できますので、気軽に申請してください。

よくあるご質問

Q 対象者は誰ですか。

A 対象者は次のいずれかに該当する人です。
① 65～69歳で前年度の町民税非課税の人
② 70歳以上の人
③ 運転免許自主返納者

Q 指定のタクシー会社はありますか。

A 三協ハイヤー・福島中央交通・あづまタクシー

Q 利用時間を教えてください。

A 午前7時～午後7時

Q 運賃500円の範囲を教えてください。

A 運賃の取扱いは次のとおりです。
① 町内…買い物や友人宅の訪問、通院（藤田総合病院含む）など利用可能
② 町外…通院（薬局含む）に限り利用可能。
ただし、町内利用分は助成対象となりますが、町外利用分は利用者の自己負担になります。

例1：町内 → 町内（藤田総合病院含む）
500円
例2：町内 → 町外の病院・薬局
500円＋町外利用分
例3：町内 → 町外のスーパー・駅など（通院以外）
対象外のためすべて自己負担

Q 禁止事項はありますか？

A 遊興目的の利用及び目的地・目的地途中でのタクシー待機（薬局・ATMなど）はできません。

Q 利用回数はありますか？

A 上限はありません。

Q 複数人での利用はできますか？

A 複数人（相乗り）での利用が可能です。
（同一の場所で乗り降りする場合に限ります）

Q 運転免許自主返納者には、「おでかけパス」と別にタクシー券の支給があると聞きましたが本当ですか？

A はい。有効期限内にある運転免許証を自主的に返納された75歳以上の町民に対して、認定事業者が運行するタクシーで使用できる券（12,000円分）を支給する事業（高齢者運転免許証自主返納支援事業）も実施しています。詳しくは問い合わせください。

Q 申請方法を教えてください。

A 役場1階健康福祉課（5番窓口）で受け付けています。持ち物は次の通りです。

■おでかけパス
印鑑・本人確認書類（免許証・マイナンバーカードなど）

■タクシー利用券（75歳以上の免許証自主返納者）※1、2
印鑑・「申請による運転免許の取消通知書」の写し※3

※1…免許返納後1年以内に申請ください。
1年を経過した場合は対象外となります。
※2…タクシー券の給付は1回限りです。
※3…警察署または運転免許センターで、運転免許証返納申請時に交付されます。

■申請・問合せ先
健康福祉課　福祉介護係　☎582-1134

NEWS

こどもの事故の応急処置について

子育てアドバイス

こどもに多く見られる事故には、誤飲ややけど、打撲があります。こどもは、何が危険なのか判断することが難しく、興味のままに行動してしまい、大人がそばにいても事故を未然に防ぐことができない場合があります。今回は、もしも事故が起きてしまったときの応急処置をケース別に紹介します。

こどもに多い3つの事故

1 誤飲

※基本的には**吐かせ**ずに、同じものを病院に持参して受診しましょう！

飲んだもの	灯油、ベンジン、除光液、農薬、殺虫剤、ネズミ駆除剤	救急車を呼ぶ
	ボタン電池・鋭利な異物（ヘアピン、針など）・磁石・洗剤（トイレ用スタンプ、液体洗剤）・吸収性樹脂・芳香剤・消臭剤・防虫剤・漂白剤・たばこ（吐かせる）・薬（お薬手帳があれば持参）コインやおもちゃ　など	急いで病院受診（症状がなくても）
	少量のインク、クレヨン、絵具、粘土、化粧品（口紅・ファンデーション）、石けん（心配な場合は電話などで相談）	家で様子を見る 診療時間内に受診

※飲み込んだ物によって対応が異なります。**何を飲んだのか確認し**、医師に名称や量を伝えられるようにしておきましょう。**現物があればなお良いでしょう。**

2 やけど

熱いミルク、熱いお風呂、アイロン、ポット、ストーブ、ヘアーアイロン、フライパン、鍋、汁物、花火

→ **10分以上水で冷やす**。服の上からのやけどの場合は無理に脱がせず服の上から冷やします。**水ぶくれはつぶさない**。
全身の10%以上の場合生命の危険が生じます。**必ず病院へ**連れていきましょう。

3 打撲

転倒、階段からの落下、ベッドやソファーからの落下　など

→ すぐに大声で泣いたり、意識がはっきりしている場合は様子を見る。泣き止まなかったり痛がったりした場合は病院へ連れていきましょう。頭を打った場合は、症状が遅れて出ることがあるため、2～3日は様子の変化に注意。

嘔吐、ひきつけ、意識がない
血の気がない顔色、出血が止まらない

→ **すぐに医療機関**を受診しましょう。

こどもは、思いもしない行動をとる事があるので、常に見守ることが大切ですが、見たり触れたりすることで物事を記憶し、けがをしたことで危険を回避することを学びます。けがをすることに過敏になる必要はなく、けがをした時に、慌てず対処ができるよう、基本的な応急処置をおさえ、こどもの成長を見守っていきましょう。

誤飲・けが・病気をした場合の相談窓口など

全国版救急受診アプリQ助

こども家庭庁応急手当方法

- こども救急電話相談　☎#8000（無料）　または　☎024-521-3790（19：00～8：00）毎日
- 全国版救急受診アプリ「Q助」（総務省消防庁）
- 桑折町こども家庭センターすくすく　☎024-582-6045（8：30～17：00）月～金（祝日除く）

●こども家庭庁のホームページに応急処置（もしもの時の「応急手当て」について）掲載

管理栄養士のおすすめレシピ

あいまぜ

ここがポイント！

1日の野菜摂取の目安量は、350ｇ以上です。野菜は、食物繊維・ビタミン・ミネラルを豊富に含むため、生活習慣病を予防し、腸内環境を整える働きがあります。

■材料（４人分）

季節の野菜…… 300 ～ 400g
（ほうれん草、小松菜、大根、白菜、にら、キャベツ、きゅうり、サラダ菜、きのこ、芋類など）
しょうゆ…… 大さじ1
にんじん…… 50g
生わかめ…… 30g
炒りごま……少々
Ⓐ
- 練りごま…… 大さじ2
- スキムミルク…… 大さじ1
- 砂糖…… 大さじ1
- しょうゆ…… 大さじ1
- だし汁…… 大さじ1

■作り方

❶野菜・きのこ・いも類は食べやすい大きさに切りゆでて、しょうゆをふりかけておく（生野菜を使う場合は切って塩もみしておく）。
❷にんじんは、せん切りにしてさっとゆでておく。生わかめは、よく洗ってひとくち大に切る。
❸Ⓐを混ぜ合わせ、❶❷を和える。
❹器に盛り、炒りごまをふりかけ出来上がり。

【1食分の栄養価】 エネルギー 127kcal/たんぱく質4.3ｇ/脂質4.7ｇ/カルシウム81㎎/鉄1.1㎎/塩分0.8ｇ

インフルエンザ・新型コロナ予防接種を受けましょう

町では、インフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の予防接種の助成を行っています。予防接種には発症をある程度抑える効果や重症化を予防する効果があります。接種を希望する人は、早めに医療機関で接種しましょう（詳細は、右記二次元コードからご確認ください）。

	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
対象者	① 65歳以上の人 ②生後 6ヵ月～ 18歳までの子ども ③妊婦 ④ 60～ 64歳の人で、心臓、腎臓、呼吸器などに重い障害があり、身体障害者手帳 1級相当の人	① 65歳以上の人 ② 60～ 64歳の人で、心臓、腎臓、呼吸器などに重い障害があり、身体障害者手帳 1級相当の人
助成期間	12月 28日まで	令和 7年 3月 31日まで

広　告

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

町の部7位で過去最高
ふくしま駅伝で力走

第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月17日に開かれました。白河市から県庁までの16区間96.3キロのコースに挑んだ桑折町チームは、5時間34分16秒で総合21位、町の部7位と、過去一番の成績を収めました。目標とした「町の部8位以内」を達成し、前回大会よりも総合、町の部で3つも順位を上げました。

2区の朽木悠翔さん（学法石川高1年）は、昨年と同じ区間を走り、タイムを2分以上縮め、区間15位と好成績を収め、チームに大きく貢献しました。佐藤圭監督は「選手全員がふるさと桑折のために走ってくれた。過去最高の結果を出した選手に感謝したい」と話しました。

駅伝チームでは、選手・スタッフを募集しています。
■問い合わせ　監督：佐藤　☎090-2278-3093

レベル別に指導
ゴルフ教室

町在住・在勤者を対象とした「こおり町民ゴルフ教室」が、9月1日から10月6日にかけて、だてゴルフ練習場で行われました。

町スポーツ協会に加盟するこおりゴルフクラブの皆さんが講師となり、初心者・経験者合わせて10人の参加者に指導しました。初心者にはクラブの握り方から、経験者にはさらなる上達のためのコツを指導。参加者からは「以前から興味があったが、なかなか一人では始めにくいから良い機会だった」などの感想がありました。

新たな庁舎完成
消防署見学

成人講座「大人の社会科見学（消防署西分署）」が11月5日に行われ、21人が参加しました。

今年7月に完成した、伊達地方消防組合中央消防署西分署の庁舎。普段はあまり足を運ぶことのない消防署に訪れ、参加者は消防署ならではの設備や装備に驚きながら、署員の説明に耳を傾けていました。見学中に警報が鳴り響き、救急車の発進を目の当たりにし、その大変さを感じつつ、町の安全・安心を守る消防署について学びました。

会津の歴史に触れ
バスで巡る小旅行

成人講座「会津歴史巡り」が10月30日に行われ、参加者36人が大内宿や塔のへつりなどを訪れました。江戸時代の宿場町として栄えた大内宿では、色づき始めた紅葉とともに、当時の面影を残すかやぶき屋根の家々が立ち並ぶ光景を楽しみました。昼食は、鰊（にしん）屋敷太田を訪れ、旧家の落ち着いた雰囲気の中、会津の郷土料理を堪能しました。普段はなかなか来ることができない、南会津の歴史ある名所を訪れ、参加者は満足そうな様子でした。

図書だより

問遊学館よも～よ ☎582-5388

＼今月のおすすめ／

冬にぬくもりを

一般書

■小鳥とリムジン
小川糸：著（ポプラ社）

主人公の小鳥の楽しみは、仕事の帰り道にある、お弁当屋さんのにおいをかぐこと。家族に恵まれず、生きる術のなかった当時18歳の小鳥に介護の仕事を依頼してきたのは、小鳥の父親だというコジマさんだった。病によって衰え、コミュニケーションが難しくなっていくコジマさんと反比例し、少しずつ心が通いあう二人。かけがえのない人たちと出逢うことで自らの心と体を取り戻していく、愛おしい物語。

児童書

■はじめてのクリスマス
マック・バーネット：文
シドニー・スミス：絵
なかがわちひろ：訳（偕成社）

むかしむかし。サンタのクリスマスは、さびしいものでした。クリスマスイブに世界中の子どもたちにプレゼントを配ったら、家にかえってねて、朝からまた、おもちゃ作りをはじめるだけ。でも、ある年、エルフたちは、みんなで相談しました。「サンタさんのために、なにかとくべつですてきなことをやらなくちゃ！」人気作家がタッグを組んだ、とびきりあたたかなクリスマス絵本。

NEWS

本の無償譲渡会「つなぐ本棚」

本を想う心もつなぐ

小説や絵本、マンガなど、地域の人から寄せられたリユース本を、必要な人へつなぐ本の譲渡会「つなぐ本棚」が11月16日から遊学館よも～よで行われました。手続き不要で、誰でも気軽に本を持ち帰ることができる取り組み。引き続き館内で実施していますので、その時々の本との出会いをお楽しみください。

よみくじで運試し

秋の読書週間に合わせて、10月27日から11月9日までの2週間、おみくじをモチーフにした「本を読んで、よみくじを引こう」が行われ、のべ500人が来館しました。くじに書かれたおすすめ作家の本を借りるなど、読書の幅を広げる機会となりました。

マルベリーこおり

問マルベリーこおり事務局 ☎582-3129

霊山道先案内人と歩く

ガイド付き登山で、秋を楽しむ

「霊山紅葉ハイキング」が11月10日に行われ、参加者12人が、道先案内人とともに伊達市の名峰霊山を満喫しました。

案内人が霊山にまつわる数々の歴史や奇岩怪石などを詳しく解説。身近な山ということもあり、何度か訪れている参加者もいましたが、現地ガイドのおかげで、素晴らしい眺望とスリル満点な山歩きに加えて、新しい霊山の姿を知ることができました。

MOMOKO HASEGAWA

得意料理は茶碗蒸し。好きな料理は、給食のカレーと母が作るトマトスープです！

わたしの夢
Dreams come true.

人々の健康を守る管理栄養士
長谷川 桃子（ももこ）さん（醸芳中3年生）

私の夢は、地域で暮らす人々の健康を守る管理栄養士になることです。

小さいころ、親に買ってもらったレシピ本を見ながら、よく母と一緒にご飯を作っていました。どんどん料理が好きになる中で、管理栄養士という仕事を知り、自分が作った料理でみんなの健康を守りたいと思うようになりました。今は、給食で特においしかったメニューのレシピを調べて、アレンジを効かせながら作ってみたり、栄養学の本を参考にしながら作ってみたり、健康を意識したご飯作りを心がけています。将来は、生まれ育った地元で、給食センターや病院などで働き、人々が健康で笑顔になれる料理を作る管理栄養士となり、長生きできる地域づくりに貢献したいです。

まちのお知らせ
Town information.

マイナンバーカード申請サポート
出張申請受付を行っています

役場職員が職場や町内会館、ご自宅などを訪問し、マイナンバーカードの申請をサポート！
完成したカードはご自宅へ郵送します。

■対象
企業や団体、家族、友人同士など（人数制限なし）

■対応日時
原則、平日9:00～12:00 / 13:00～16:30の間

■お願い
会場手配や申請者取りまとめ、申請書配布などの準備は、申込団体でお願いします。

問税務住民課　住民国保係　☎582-2114

広　告

広　告

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS | ごみ減量化インフォメーション

問生活環境課
☎582-2123

3010（サンマルイチマル）運動

3010（サンマルイチマル）運動とは「宴会での乾杯後30分、お開きの10分前は自席で料理を楽しみ、食べ残しゼロ」に取り組むキャンペーンです。年末年始は、クリスマス会や忘・新年会などの宴会が増える時季です。宴席を楽しむときは、3010運動を思い出し、次のことを意識して楽しみましょう！

- 幹事は宴会が始まる前に「食品ロスを出さないよう、残さず食べましょう」と呼びかける。
- 乾杯後 30 分は、自席で料理・お酒を楽しむ。
- 大皿料理が少し残ったら、食べられる人に勧める。
- お開き 10 分前は、お酌から自席に戻り、残った料理を楽しむ。
- お開きの前、幹事を中心に「もったいないから食べきりにしよう」と互いに声を掛け合う。
- 万が一、料理が残ったら、持ち帰りできるかお店と相談する。

3きり運動

3きり運動とは、「食べきり・使いきり・水きり」の3つの「きり」をキーワードにして、台所からでる生ごみを減らすことを目的にした消費生活スタイルです。次のポイントを参考に、台所から出る生ごみを減らし、ごみ収集日の少ない年末年始を乗り切りましょう。

食べきり
生産者や料理を作ってくれた人に感謝し、残さず食べる。作りすぎに注意し、残った場合は冷凍保存をする。

使いきり
買い物前に家にある食材をチェックし、在庫から使う。また、食材を腐らせてしまわないように、使い切れる量を買う。

水きり
生ごみに多くの水が残ると、嫌なにおいの原因に。料理の際は、できるだけ食材をぬらさないようにし、たまった生ごみは「ぎゅっと、ひとしぼり」してからごみ箱へ。

町のごみ排出量
※1人1日あたりの排出量

令和6年10月
1,068 g 前月比+60 g
福島県平均（令和4年度）1,021 g

分別に困ったら…
伊達地方衛生処理組合のホームページで検索

広　告

広　告

広　告

広報 ⑫ DEC.2024 vol.660
Koori Town Public Relations Magazine

12 くらしのカレンダー
November 2024

日	月	火	水	木	金	土
●成人講座 ●子ども向け講座 ㊡休日当番医 ◆母子手帳交付・すくすくの日 （☎582-6045）へ事前にご連絡ください。 【子育て支援センター】：イコーゼ 10:00～11:30 ♥ベビールーム（1か月～1歳5か月ごろのお子さんと保護者） ★キッズひろば（1歳6か月ごろ～就園前のお子さんと保護者）			4 ★ ・広報12月号発行 ・お知らせ版発行 ・離乳食教室	5 ♥ プリザーブドフラワー 正月飾りアレンジメント	6 ★◆ 高血圧予防食講座	7
8 キッズスクール「木で作ろうクリスマスかざり」 ㊡ゆう愛クリニック ☎586-1315	9 ♥	10 健康チェック＆相談日	11 ★ 特定健診・各種がん検診	12 10・11カ月健診（R5年12・R6年1月生）	13 ◆ 和紙で作る一輪挿軸	14 桑折学習塾（中学生）
15 eスポーツ体験講習会（子どもも OK） ㊡大山クリニック ☎583-2136	16 ♥	17	18 ★ ・お知らせ版発行 ・おはなし会（イコーゼ！）	19 ♥ 3歳6カ月健診（R3年4･5･6月生）	20 ★◆ 認知症サポーター養成講座	21 桑折学習塾（中学生・閉講式）
22 ㊡かしの木内科クリニック ☎551-1411	23 ♥	24	25 ★	26 ♥	27 ★◆	28
29 ㊡遠藤内科医院 ☎582-6788	30	31 ㊡北福島医療センター ☎551-0551	1 ㊡武田小児科 ☎575-2439	2 ㊡北福島医療センター ☎551-0551	3 ㊡伊達セントラルクリニック ☎575-3215	4

【編集後記】

▶「半田山に3回雪が降ると平地にも降る」という言い伝えがありますが、小さいころは、半田山が見えない地区に住んでいたので雪虫が初雪の到来を知らせてくれました。某気象情報会社が調査したところ、雪虫の発生から初雪までの平均日数は2.24週間だったそうです。半田山の言い伝えもけっこう信じている私は、この時期になると、毎朝の通勤時に山頂付近が何回白くなったか気にしながら、タイヤ交換のタイミングを見計らっています（大越）

◆人口（前月比）11月1日付

人口 ※住民基本台帳／外国人含む	計	10,977人	(−20)
	男	5,357人	(−10)
	女	5,620人	(−10)
世帯数		4,674世帯	(0)
転入など	14人	出生	5人
転出	24人	死亡	15人

◆今月の納税

- 町県民税（普通徴収4期）
- 国民健康保険税（普通徴収6期）
- 介護保険料（普通徴収6期）
- 後期高齢者医療保険料（普通徴収5期）

期限 12月25日水

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付／印鑑登録／マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※当日午後5時までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。

発行／桑折町
〒969-1692 福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下22番地7
tel 024-582-2111（代）／fax 024-582-2479